

日本骨髄バンクの現状（平成 18 年 3 月末現在）

	2 月	3 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,277	3,212	242,858	307,597
患者登録者数	192	225	3,241	20,301
骨髄移植例数	71	100	-	7,247

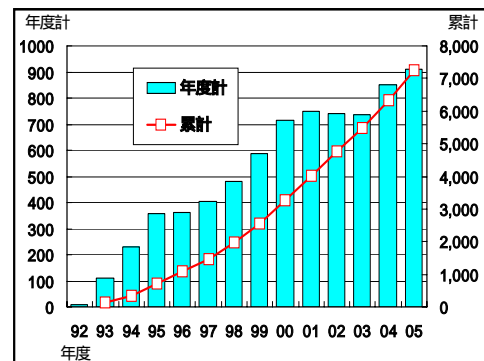
注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

20 歳未満のドナー登録者数
 3 月 205 人
 合計 2,637 人（17 年 3 月～）
 51 歳以上のドナー登録者数
 3 月新規 114 人
 延長 228 人
 合計 2,883 人（17 年 9 月～）

1 昨年度の移植数が 900 例を突破、3 月の月間移植数も最多の 100 例に

平成 17 年度の移植数が計 908 例に上り、「過去最多」となりました。これまでは 16 年度の 851 例が最多でしたから、一挙に 60 例近くも増加したことになります。12 年度から 4 年間は「700 台」が続いていましたが、このような記録になったのは、迅速コースの効果により、移植に至る患者さんが増えたことなどが理由として挙げられます。

また、3 月の月間移植例数は 100 例で、これも昨年 10 月の 98 例を更新して過去最多となりました。総数は 3 月末現在で 7247 例ですが、このうち海外からの受け入れが 139 例、海外への提供が 144 例（詳細は裏面）となっています。



2 18 年度の事業計画・予算を通常理事会で原案どおり承認

3 月 29 日の第 30 回通常理事会で、18 年度の事業計画・一般会計及び特別会計収支予算などが承認されました。

重点項目は次の通りです。1)「将来展望に関する検討会議」(仮称)の設置 = 年間移植数 1000 例を見据えるとともに、ドナー登録者数 30 万人達成後の展望を描くため、今後の骨髄バンクのあり方を検討する。2)コーディネート業務等の体制強化 = コーディネート件数の増加、迅速化、高度化に対応するための人員増。3)コーディネートシステム更新 = 来年 1 月の稼働を目指し、国庫補助を含め総額 2 億 5000 万円規模で全面更新する。4)「骨髄採取施設の確保等に関する検討会議」(仮称)の設置。5)普及啓発活動の強化 = 全国すべての中学・高校を対象にした壁新聞を作成するとともに、全国の行政機関に登録推進用グッズカタログを配布、またインターネットホームページ (donorsnet) を刷新する。6)国際協力 = 国際協力事業特別会計を一般会計に統合するとともに、海外の骨髄バンクから骨髄提供を受ける国内患者のうち低所得者への負担金免除制度 (上限 100 万円) を創設する。

また、寄附行為が一部改正され、これによって副理事長が 2 人体制 (現行 1 人) となり、併せて常任理事会の構成員となります。新副理事長は 4 月 19 日の臨時理事会 (非公開) で選出されます。なお、常務理事兼事務局長の堀之内敬が 3 月 31 日付で退任しました。後任の常務理事は当分の間、空席のままで、事務局長は総務部長の木村成雄が併任します。

3 国際協力の現状・バンクを介しての2回提供・DLI状況(3月末)

1) 国際協力の現状

海外ドナーから国内患者へ		2006.1~3				~2006.3末
		登録患者数	全抗原適合*	コーディネート数	移植数	累計移植数
NMDP(米国)	日本	10	8	8	1	106
BTCSCC(台湾)		10	4	5	0	22
KMDP(韓国)		10	3	7	0	11
計		—				139
国内ドナーから海外患者へ		登録患者数	全抗原適合*	コーディネート数	提供数	累計提供数
		日本	NMDP(米国)	18	11	17
	BTCSCC(台湾)	0	0	0	0	0
	KMDP(韓国)	132	90	46	1	118
	その他の国**	—	—	—	0	19
計		—				144

* 1人でも適合したドナー候補者が見つかった患者の数。

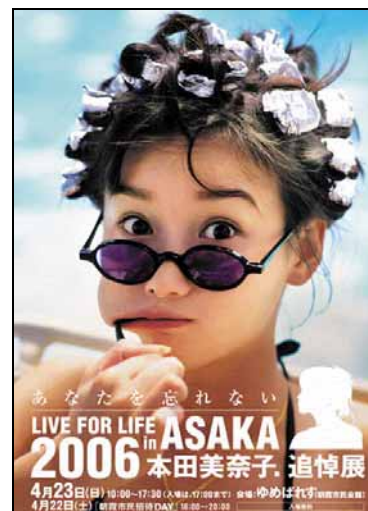
** その他の国と地域は累計のみ掲載します。提供内訳は香港6件、英国2件、ブラジル2件、ドイツ2件、ベルギー2件、オランダ1件、オーストラリア1件、カナダ1件、シンガポール1件、フランス1件。

- 2) 骨髄バンクを介して2回提供された方(累計数) 288人
3) DLI(ドナーリンパ球輸注)療法の実施件数(累計数) 179件

4 本田美奈子さんの追悼公演開催。23日には朝霞で追悼展

昨年11月、急性骨髄性白血病で亡くなった本田美奈子さん(享年38)を追悼するミュージカル「レ・ミゼラブル」の特別チャリティー公演が4月1日、東京・日生劇場で開かれました。この日は特別の「通し稽古」でしたが、本田さんが生前取り組んでいた「LIVE FOR LIFE」事務局を通じて、製作の東宝株式会社から当財団に対して収益の568万円が寄贈されました。本公演中の6日、14日、19日は「メモリアルデー」に充てられ、出演者らのトークで本田さんをしのびました。

また、出身地である埼玉県朝霞市で「本田美奈子追悼展」が4月23日(日)10:00~17:30、朝霞市民会館(ゆめばれす) = 右の写真は告知ポスター = で開かれます。前日の22日は朝霞市民の招待デーですが、プライベートショットなどの未公開映像上映をはじめ、写真やゆかりの品々が展示されます。入場無料。詳しくはHP = <http://www.live-for-life.org/>



5 骨髄バンク・さい帯血バンク合同公開フォーラムに140人参加

第3回の合同フォーラムが3月12日(日)、日本赤十字社ビルで開かれ、関係者ら140人が参加しました。「空想的近未来 2009年春」のテーマでしたが、当財団は「世界一の骨髄バンク」を目指し、ドナー登録者30万人達成後のあり方を検討しました。

6 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
常任理事会	公開	4月19日(水) 17:30~19:30 廣瀬ビル2階会議室
常任理事会	公開	5月27日(土) 15:00~17:00 廣瀬ビル2階会議室